生川と関西線加茂を結ぶ鉄道として貴生川・信楽間開通，信楽線と呼称したが，昭和18・10全線営業休止し，昭和22・10復活された。（森　悌寿）

しかん　支間　（英）span　1つの橋桁（けた）の長さの方向に測った支承中心間距離。この支間が設計応力計算上の基本の長さとなる。

支間が決定すると，鉄道橋においては通常用いられる経済的な型式が限定される。

一般的に鋼桁では　1～　7mの支間では　　工形桁
7～　35m　　〃　　プレートガーダー
35～100m　　〃　　　トラス桁

が用いられている。鉄筋コンクリート桁は，支間5～12mくらいの範囲で用いられ，合成桁，プレストレスト・コンクリート桁はプレートガーダーの範囲で用いられる。──→橋梁。（菊地洋一）

じかんかんかくほう　時間間隔法　（英）time interval system

列車運転方式の保安方式の1つで，列車間の間隔を保つのに時間を基礎とするので，時間間隔法という。──→空間間隔法。（三和達忠）

じきあつかい　直扱　通運事業者を介さないで，荷主自らが鉄道に対し貨物の託送をし，または貨物の引取をすること。これをなまって，じかあつかいというところもある。鉄道は直扱のものであろうと通運事業者を介し運送するものであろうと，その取扱に何ら差別するところはない。（重森直樹）

しぎいこまでんてつ　信貴生駒電鉄

1　事業者の概要

名称　信貴生駒電鉄株式会社，本社　奈良県生駒郡生駒町，資本金1,440万円，地方鉄道14.3km，従事員110人，保有車両電動客車8，鋼索客車2両。

沿革　大正9年信貴生駒電気鉄道株式会社設立，同11・5王寺・信貴山口間（平坦線）および信貴山口・信貴山間（鋼索線）を開業，同14・11生駒電気鉄道株式会社（枚方東口・生駒間未成線）と合併，現商号に変更逐次路線を延長開業す。昭和15・4私市・枚方東口間（開業線）および私市・生駒間（未成線）を京阪電気鉄道株式会社へ譲渡し現在に至る。

信貴生駒電鉄線

2　運輸概況

項目 ＼ 年度	昭和 28	29	30
旅客輸送人員（千人）	2,735	2,720	2,817
人キロ（千）	10,442	10,200	10,386
貨物輸送トン数（千t）	1	1	2
トンキロ（千）	4	4	4
旅客収入（千円）	39,484	42,401	44,811
貨物収入（〃）	60	763	644
運輸雑収（〃）	588	512	402
収入合計（〃）	40,731	43,676	45,857
営業費（〃）	39,371	43,441	45,038
営業利益（〃）	1,361	235	819
営業係数（%）	97	99	96

3　地方鉄道線　国鉄関西本線王寺および近畿日本鉄道奈良線生駒駅に連絡，平坦線　王寺・生駒間12.6km，鋼索線　信貴山口・信貴山間1.7kmいずれも単線，大正8・8・27免許，旅客・貨物運輸を目的とする。平坦線は軌間1.435m，大正11・5・16から，昭和2・4・1の間に逐次開業，鋼索線は軌間1.067m，大正11・5・16開業。

4　沿線の特長　平群駅付近の切花，南生駒駅付近の生駒石（庭石）のほか，果実，竹材等の産地として名があり，本鉄道を通じて相当数量が出荷されている。

5　観光地　信貴山（信貴山駅），龍田川（龍田川駅），元山上口（元山上口駅）。（原　功）

しきさいちょうせつ　色彩調節　（英）colour conditioning

色彩の持つ心理的効果，あるいは生理的効果を機能的に利用し，その場所に応じたもっとも好ましい環境を作るため，屋内の場合には壁・てんじょう・床面等の建築物はもちろん，調度品に至るまでそれらの色彩を系統的に選定し，その場所で行われることの内容に，もっとも適応したふん囲気を作り，職場の場合は作業能率の向上，住宅の場合は休息等の目的をよりよく達成しようとする方法である。色彩調節（カラーコンディショニング）は，視覚から生ずる心理的あるいは生理的疲労を，救済しようとするものであるから，これを行うにはまず絶えず遠近に目の焦点を合わせねばならぬ作業，または微細なものを凝視しつづけることを要する作業等は，できるかぎり疲労を除去するように努めて設備を作り，つぎに作業内容を十分に検討し，必要照度を定め適正な照明を行う。ついで色彩の選定を行うわけであるが，人工照明による場合には，光色による色彩の演色性の違い，および照度の大小による演色性の違いもあるため，定められた照明に対し，それぞれの標準色を定めなければならない。しかし一般には，標準色を定める場合に，すでにこれを考慮して定め，マンセル記号等により，標準色を表わしているのが普通である。

色彩の選定を行うには，まずふん囲気を作るものの色彩を定めるが，これにはたとえば，灰緑色系統の色彩は，目の疲れをいやすばかりでなく，時間の経過を忘れさせる心理的効果もあるから，この色を主とするふん囲気の中では，単調な仕事も長くつづけやすくなる等，その場所の作業内容に応じ，色彩の持つ心理的効果・生理的効果を検討して定める。ついで作業の中心部の色彩（焦点色といわれている）を定めるのであるが，無意識のうちに作業中心部に向わせるには，周囲の色彩よりやや明るい色彩を用いると効果がある。また安全標識等も，色の明視性または連想性を利用して，系統的に定めることにより，色彩からその意味がわかり，とっさの場合にも，無意識的に適正な行動が行われるように考えられている。最近の例では新設された変電区（所）を，壁面には黄～緑色，機器には灰～青灰色，焦点色には黄色系統の色彩を用いて色彩調節を行っている。また工場機器にも作業の安全性の上から，色彩調節が強く採用されつつある。（高柳　達）

じきしゅうにゅう　直収入　駅，区，列車，自動車，船舶および病院等において，当該箇所の分任出納役または出納員が乗車券類，諸料金切符類，貨物通知書そのほか所定の収入証票を発行して，直接旅客・荷主等から収納する収入をいう（日本国有鉄道会計規程第57条第4・5項）。

国鉄においては現金の収納については，会計長において要求者から送付された徴収要求に関する伝票，および関係書類により収入を調査決定（これを調定という）し，命令印を押し，もし納人に対し，納入の告知を必要とするものにあっては，支払